

観点1	基礎・基本の定着
観点2	主体的に学習に取り組む工夫
観点3	内容の構成・配列・分量
観点4	内容の表現・表記
観点5	言語活動の充実

教科名	理科
第1推薦	6 1 啓林館
第2推薦	2 東書

(理科) 各教科書の主たる特徴及び意見

発行者名	主たる観点	主たる特徴
2 東書	観点1	理解を深める工夫として、各章のはじめに「これまでに学んだこと」という枠組を設けて、既習事項や他教科との関連を示している。
	観点2	ものづくりの内容及び数が比較的多く(15)、各学年4から7の掲載がある。
	観点3	各学年の分量は平均的であり付録が数ページついている。補充的な問題は少なく、発展的な学習の読み物や観察、実験等は平均的である。
	観点4	巻頭資料では写真を多用している。巻末資料の分量は少ない。身近な現象の写真を大胆に使い単元の導入に用いている。1学年の文字は他学年より大きい。
	観点5	キャラクターなどにより、興味を持たせるための工夫があり、レポートの作成について系統的な説明が示してある。
4 大日本	観点1	1学年の観察実験の数が多いため、精選・重点化が必要である。「単元末問題」では読解力問題を通して基礎・基本の定着が図られている。
	観点2	ものづくりの内容及び数が大変多く(23)、各学年6から9の掲載がある。
	観点3	各学年とも分量が多い。単元末の補充的な問題のページ数は平均的である。発展的な学習の読み物や観察、実験等が多い。
	観点4	巻末資料における課題研究・自由研究のページ数と課題例が多い(34)。
	観点5	ポイントとなる部分で、「話し合ってみよう」の項目を設け、話し合い活動を促している。レポート例示の数は少ない(6)。
11 学図	観点1	各章の導入部に「これまで学んできたことをチェックしよう」という枠組を設けるとともに「単元末問題」で基本的な問題演習を通して基礎・基本の定着を図ろうとしている。
	観点2	ものづくりの内容及び数が比較的多く(14)、各学年4から6の掲載がある。
	観点3	各学年とも分量は多い。補充的な問題は少ない。発展的な学習の読み物や観察、実験も少ない。
	観点4	3学年の巻末資料は多い(35)。既習内容に関連した写真を単元の導入に用いている。
	観点5	よくない例のグラフの表記があり、グラフの書き方がよくわかる。レポート例示の数は少ない(6)。
17 教出	観点1	単元末に「要点と重要用語の整理」をまとめとして掲載し、さらに「基礎・基本問題」から「活用・応用問題」へと学力向上が図られている。また、コラムを設けて生活や科学史、発展的な内容を扱っている。
	観点2	ものづくりの内容及び数が全体的に少ない(11)が、各学年3から4の掲載がある。

	観点3	各学年とも分量が少ないが、付録が数ページついている。補充的な問題のページ数が多い。発展的な学習の読み物や観察、実験等は平均的である。
	観点4	教科書本文及び補足説明等の文字が小さい。身近な現象の写真とキャラクターを単元の導入に用いている。3年巻末資料が多い(45)。
	観点5	「わたしのレポート」としてよいレポートの例示を記載している。
61 啓林館	観点1	別冊「マイノート」に観察、実験のワークシートや「基本のチェック」を設けることにより、用語、観察・実験、要点の確認がコンパクトにできるようになっている。また、細やかなマーク表示により安全確保と注意喚起を図っている。
	観点2	ものづくりの内容及び数が比較的多く(14)、各学年2から9の掲載がある。また、県内教材写真の取扱数が他社の0から2に対し、11と最も多い。
	観点3	各学年の別冊を合わせた分量はとても多い。補充的な問題は別冊に掲載され扱いやすい。発展的な学習の読み物や観察、実験等は少ない。
	観点4	3年巻末資料では、薬品の取扱いや地域・環境資料など、万遍なく掲載(33)され充実している。単元末の「学習のまとめ」などでは、文字色が工夫され、添付の青色シートを使って基本事項の振り返りができる。
	観点5	別冊「マイノート」のサイエンスアプローチで観察や実験で得たことをまとめることによって、科学的思考力の育成につなげようとしている。レポートの一部または全部を多く示している(21)。